



国中だより

一中ホームページ：国立市立国立第一中学校へアクセス

国立第一中学校
学校だより
平成31年 4月号
4月15日(月)発行



新年度が始まりました

校長 山上 真哉

お子様のご入学おめでとうございます。平成31年度、新入生150名を新しく迎え、国立第一中学校は新たにスタートしました。昨年度に引き続き校長を継続させていただきます、山上真哉です。昨年度一年間で積み上げてきた教育実践を継続し、今後は更に伝統ある国立第一中学校の発展のため校長として、精いっぱい努力してまいりますので、何卒ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

4月8日の朝、進級した生徒たちがいつもより早く登校し、新しいクラスの発表を確認しながら、歓声が上がったり、悲鳴めいた声が飛び交ったり毎年の光景を私たちは楽しく、そして緊張感をもって眺めていました。

始業式では、進級した生徒がしっかりと話を聞く態度に、成長した様子が感じられ嬉しく思いました。それぞれの学年が、こんな一年になりますようにという願いを熱く語らせていただきました・・・

4月9日は国立一中の73回目の入学式が行われ、勇気を出して行動する大切さ、について話をさせていただきました。この話は、実際に前任校であった勇気ある生徒の行動が、学校と地域の方々を動かした話で、これから始まる学校生活すべてにおいて、仲間とともにぜひ素晴らしい毎日にしていただきたいという願いを込めて話をさせていただきました。

<学校教育目標>

「たくましい、心豊かな人間」を目指して、自ら課題を見付け、探求し、解決する力を身に付けた生徒を育てるために次の目標を設定する。

1. 自ら学び、考え、自主的な行動をしよう。
2. 豊かな創造性を養おう。
3. 思いやる心をもとう。
4. 健康な心身をつくろう。



《31年度の目標》

「共生社会に向けた「共学」（共に学ぶ）、「共感」、「共育」による学舎の創造」

<31年度の学校経営の重点>

(1) 確かな学力の向上【共に学ぶ「共学」】

- ①特別支援教育の視点に立った授業実践に取り組むとともに、一中の「交流及び共同学習」を積極的に推進する。
- ②生徒の学びの室を高めるため、指導（計画）の改善や個に応じた指導の工夫等授業力の向上を図りながら、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。
- ③各教科、総合的な学習の時間等の学習を通して、問題解決型学習を推進し生徒主体の授業展開を工夫し、生徒の思考力・判断力・表現力を高めるとともに、「主体的な学び」の視点に立ち支援する授業実践を行う。

(2) 心の教育の充実【自他を大切にする「共感」】

- ①規範意識の醸成と公共心の涵養、基本的生活習慣の確立を図る。
- ②道徳教育の充実、ボランティア活動の推進を通して、自尊感情や自己有用感の醸成とともに他者を大切にする「温かい心」を育てる教育の充実を図る。
- ③いじめのない学校、不登校生徒の減少を目指すとともに、「生命尊重」の精神を涵養し、命の教育の充実を図る。
- ④情報モラル教育を推進し、有害情報から生徒を守るとともに、「SNS 一中ルール」の見直しを通し、適切な活用方法について生徒が考える取組を行う。
- ⑤様々な機会を通し、生徒の声に耳を傾けるとともに、スクールカウンセラーなどとの連携を図り、生徒理解に努める。

(3) 特別活動の充実【ともに育つ「共育」】

- ①生徒一人一人が大切にされる温かい学級経営、学年経営の充実を図り、生徒との信頼関係を構築し深める。
- ②限られた時間・準備の中で、生徒が主体となって活動する学校行事を創造する。
- ③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

最後になりましたが、今年度の教育目標を達成させるために、全教職員一丸となって教育活動を推進させてまいります。保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動に関して、ご理解とご協力をお願いいたします。